

講演：「船舶と航空機の安全管理について」

(第61回月例会)

■講演概要等

海上保安庁の統計によると、近年、船舶事故の隻数は減少傾向も見られるものの、全国で約 2,000 隻を数えており、特に、小型船舶によるものが、全体の約 8 割を占め、事故防止の難しさがうかがえます。そこで、安全運航が厳しく求められている航空機と船舶の両方の分野に携わっている専門家に船舶と航空機の安全管理の違いや航空機の安全管理の船舶への応用など、船舶事故を減少させるための方策等について、海上保安庁の航空機に関するエピソードとともにお話をさせていただくこととしております。

講師は、海上保安大学校を御卒業後、飛行士としての道に進まれ、釧路航空基地を皮切りに、広島、美保、境（ヘリコプター搭載型巡視船）、伊勢の航空基地等において航空業務に従事され、幾多の危険な海難救助等で活躍されたのち、巡視船の業務管理官、航空基地の次長等の職に就かれ、現在は、和歌山海上保安部海南海上保安署長として、海上保安現場の第一線の指揮官として活躍されている方です。

■講師

和歌山海上保安部 海南海上保安署

署長 佐藤 友保 （さとう ともやす）氏

■開催日時

平成31年1月29日（火）15:00～16:30頃まで

■開催場所

起業プラザひょうご（サンパルビル 6階 セミナールーム）

神戸市中央区雲井通5丁目3-1

電話 078（862）5302



■主催 公益社団法人 神戸海難防止研究会（担当：藤原）

電話 078（332）2035

入場無料 ご自由にお入りください！（定員50名）